

# 岩手県観光協会



編集・発行

公益財団法人岩手県観光協会(発行責任者:高橋 雅彦)

〒020-0045

岩手県盛岡市盛岡駅西通 2-9-1 マリオス 3 階

TEL:019-651-0626/FAX:019-651-0637

URL : <https://iwatetabi.jp>

# だより

旅行会社参加者アンケートでは、三陸沿岸道路の全線開通、平泉世界遺産ガイドセンター、宮古市遊覧船再開予定の情報など、新しいトピックスへの関心が高かったほか、小岩井農場の現場からの



説明会は、本県の観光素材や取組について、岩手県観光・プロモーション室の菊地国内観光担当課長によるプレゼンテーションをYouTubeで限定配信し、参加者に事前に視聴いただく方法で情報発信したほか、オンライン開催当日は、Zoomを活用し、岩手県側参加者が全ての参加旅行会社に対し、時間交代制で個別にPRを行う形で商談を実施しました。

## ★観光客誘致説明会(東京・大阪・名古屋)

岩手県観光協会及びいわて観光キャンペーン推進協議会では、大都市圏からの観光客の誘致拡大を図るため、東京及び大阪・名古屋の旅行会社を対象に「岩手県観光客誘致説明会」を開催しました。

コロナ禍で、東京は昨年度に続き2回目、大阪・名古屋は初めて、オンラインで開催しました。

説明会は、本県の観光素材や取組について、岩手県観光・プロモーション室の菊地国内観光担当課長によるプレゼンテーションをYouTubeで限定配信し、参加者に事前に視聴いただく方法で情報発信したほか、オンライン開催当日は、Zoomを活用し、岩手県側参加者が全ての参加旅行会社に対し、時間交代制で個別にPRを行う形で商談を実施しました。

リモート参加がイメージがわきやすく良かったとの意見もありました。限られた時間で、県側参加者の資料が良くまとまっていて事前送付で予習もできて良かったと評価もいただいています。

### ※参加状況

○東京オンライン商談会(11月9日)

旅行会社 11社 25名  
岩手県側 28団体 34名

○大阪・名古屋オンライン商談会(11月16日)

旅行会社 14社 20名  
(大阪) 8社 11名  
(名古屋) 6社 9名  
岩手県側 25団体 34名



オンライン商談会の様子

## ★教育旅行オンライン商談会(首都圏・北海道・近畿・中部)

教育旅行の誘致拡大を図るため、主要なターゲットとなる北海道札幌市・函館市、東京都及び近畿・中部地区を対象に、対面での説明会に代えて「岩手県教育旅行オンライン商談会」を開催しました。

オンラインでの実施で、これまで参加いただけなかった支店など、広域での参加をいただきました。多くの旅行会社から、オンライン商談会の継続希望があり、説明会を開催していない地域への新たな誘致手法として期待されます。

### ※参加状況

○首都圏(7月21日)

旅行会社 3社 12名  
岩手県側 21団体 37名

○北海道(7月28日)

旅行会社 7社 12名  
岩手県側 22団体 34名

○近畿・中部(11月18日)

旅行会社 3社 5名  
岩手県側 22団体 30名

## ★エージェント招待事業

沿岸地域への観光客の誘致拡大を図るため、10月25日、27日、(株)阪急交通社の企画担当者5名を招き、沿岸の観光地や観光施設の視察を行う「エージェント招待事業」を実施しました。

初日は、「久慈琥珀博物館」と「やませ土風館」、久慈駅から普代駅まで「三陸鉄道レトロ列車」、「北山崎」、「北山崎観光船」や昼食、宿泊施設の視察、二日目は「龍泉洞」、宮古市田老の「学ぶ防災」、山田町の「つまみ食いツアー」や昼食、宿泊施設の視察。

三日目は大船渡市の「かもめテラス」と「穴通磯」、陸前高田市の「東日本大震災津波伝承館」と風食施設の視察。エージェントから、インパクトのある宣材写真の提供や沿岸部でも海鮮以外のメニューの提案が効果的とのアドバイスがありました。



視察の様子(久慈琥珀博物館)

## ★おもてなしの心向上研修会(初級・中級・上級)

岩手らしい温かいおもてなしの心でお迎えできるよう接

遇向上を図る「おもてなしの心向上研修会」の初級編(11月8日)、中級編・上級編(11月25日)を開催しました。

初級編では、3年未満の勤務経験者10名が受講し、身だしなみ、表情や挨拶等の接客の基礎、コロナ感染対策等を学びました。

中級編では、3年以上の勤務経験者18名が受講し、Withコロナ時代のおもてなしの心得、クレームを防ぐための注意点やおもてなしを行い続けるために必要なこと等を学びました。



上級編の研修会

上級編では、中級編受講者、いわて観光おもてなしマイスター等22名が受講し、日本の老舗から学ぶこと、リーダーの行動、おもてなしのプロ(上級者)とはどのようなものかな等を学びました。

受講者からは、とても有意義、わかりやすく楽しく研修の内容が頭に入った等、高い評価をいただきました。

### ★東北デスティネーションキャンペーン SL 銀河お出迎え

9月末の東北デスティネーションキャンペーン終了に合わせ、来県した観光客に感謝の意を示すため、JR花巻駅にてSL 銀河のお出迎えが実施されました。関係者が横断幕やノベルティ配布で乗客を歓迎する中、一般の家族連れや鉄道愛好家などもSL 銀河の記念撮影をするなど、ホームは多くの人で賑わいました。



到着した SL 銀河

### ★いわて秋冬キャンペーンキックオフセレモニー

いわて観光キャンペーン推進協議会が主催する「いわて

秋冬キャンペーン」のキックオフセレモニーが10月25日に開催されました。

セレモニーには当協会の谷村理事長が参列し、成功を祈願して参加者全員でキックオフを宣言しました。

当協会としても、引き続き賛助会員の皆様と協力しながら、岩手の魅力発信に努めて参ります。



キックオフセレモニーの様子

### ★ホームページいわての旅更新情報

岩手県観光ポータルサイト「いわての旅」では、県内のイベント情報や観光スポットの紹介をはじめ、季節の情報や各種特集ページを掲載しています。

現在は、県内のスキー場・スケート場の開業状況や冬の体験観光情報、宿泊割引キャンペーン

ページの実施状況のほか、世界遺産登録が決定した一戸町の「御所野遺跡」の特集ページも公開しています。

### ★世界遺産登録決定！「御所野遺跡」取材

一戸町の御所野遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録を記念した特集ページの制作のため、8月に御所野縄文公園を取材しました。当日は猛暑の中で撮影でしたが、天候に恵まれ自然豊かな御所野縄文公園を魅力的に撮影することができました。



御所野縄文公園での取材風景

### ★賛助会員アンケート調査

当協会では、早期再開が待ち望まれるG・T・Oトラベル事業やインバウンドの新たな展開も見据え、関係者一

丸となって誘客に取り組みため、賛助会員の皆様のニーズを改めて把握し、当協会の役割や事業の在り方を探ることを目的として、11月、アンケート調査を行いました。

市町村観光協会、観光事業、宿泊、観光関係、運輸関係団体等161会員を対象に実施し、約47%にあたる75会員から回答をいただきました。

現在お困りのことは、回答が多い順に、感染症の再発・流行、顧客の喪失(客層の変化)、従業員不足・雇用維持となっています。

また、当協会が強化すべき取組や機能は、回答が多い順に、国内観光客の誘致促進、観光情報の発信、教育旅行の誘致促進となっています。

今後、分析を進め、「いわての旅」賛助会員へのお知らせページにて調査結果を報告する予定です。御協力ありがとうございました。

### ★協会主催行事予定(令和4年3月まで)

【3月】

4日・第2回賛助会員全員協議会

23日・第3回理事会

25日・第49回東京モーターサイクルショー出展